

美帆 やつと 2人で 菜那



姉妹で五輪出場を決め、会見後に意気込みを見せる（左から）姉の高木菜那と妹の美帆両選手（金野和彦撮影）

菜那選手は2014年の
ソチ五輪、美帆選手は一足
先の10年のバンクーバー五
輪に中学生で出場したが、
ソチは落選。初めて同時に

代表切符を手にし、菜那選手は「これまでどちらかに気を使っていた両親に五輪を最高に楽しんでもらえ」と喜んだ。

高木姉妹五輪代表入り

妹に嫉妬した

見て、「本気で世界で戦いたいと感じるようになつた」と語る。

挫折越え
夢重なる

【長野】30日に発表されたスピードスケートの平昌五輪代表に、幕別町出身の高木菜那選手(25)、妹の美帆選手(23)が初めて姉妹そろって選ばれた。ともに2度目の五輪ながら、それぞれに苦しい時期を乗り越えてきた2人は「やっと姉妹でオリンピックに行ける」と本番での活躍を誓い合っている。

「甘さ」と決別

一方、「スーパー中学生」と脚光を浴びた美帆選手も挫折を経験した。帶南商高を卒業して日体大1年で迎えた4年前は代表選考会で落選。「姉は前の年からオリンピックに行きたいとずっと言っていた。自分は選考会を終えて甘さに気付いた。必死さが足りなかつた」と振り返る。

落選を改めて競技に向かうきっかけとし、五輪のため「すべてをスケートに懸ける」と決意。大好きな

スイーツや揚げ物を控えて
体重管理を徹底。年々成長
を続けて、日本の中長距離
のエースに成長した。

五輪では個人種目の他に、3人がチームとして一緒に滑る団体追い抜き（チームパシユート）に姉妹で

出場する。今季のワールドカップの3大会では、息の合った滑りで毎回世界新記録を樹立し優勝を重ねている。互いの存在を飛躍につなげてきた。普段は仲良しの2人は、「チームパシコートは金メダルを狙う」と口をそろえた。